

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋1-21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

・自然にある色を絵の具で表現してみよう！（6/20）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

・戸外活動が大好きで散歩に出た際には、様々な花の色に興味を持ち集めていた。その様子から絵の具で色を表現することで、より自然環境を深く観察出来るようにするため。

2 活動スケジュール

①各テーブルの友達と4人（3人）1グループで各グループにビニール袋を渡し木場公園に向かう。
②木場公園に到着後、花や葉っぱの収集を行う。
③帰園後収集した花を机に置き、赤、青、黄、白色の絵の具を使って色水で表現してみる。
④出来上がった色水を保育者や友達同士で見比べあいながら感想を言い合う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・収集用のビニール袋、各色の絵の具、紙コップ

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・散歩中はどうの花があるのか想像したり、色の組み合わせを話したりする。
- ・収集活動中にどんな色を使ったら花や葉っぱの色を表現出来るのか考えてもらう。
- ・友達同士で話し合いをしながら色々なパターンの色水を試してみる。
- ・色水が完成した後は感想を話し合う。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

・収集活動中は「このお花の色は紫色だね。」「紫だから赤と青で出来るかな?」「ちょっと白も足してみるのもいいね。」など花をよく観察しながら、色の組み合わせを友達同士で想像し話し合っていた。また、色水を作る過程では友達と分担作業を行いながら「私は黄色と青を混ぜるね」と連携を取る姿も見られた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・自分達で立てた目的に向かって子ども達同士で話し合い協力をしていく中で、保育者の助けがなくても自然と仲良く過ごし、意見を言い合うことが出来ていた。またそれにより普段は関わりの薄かった子どもともよく話すようになり一緒に遊ぶようになったので、今後も少人数での活動をたくさん取り入れていきたい。関わりがとて深まることを知れたので、次回行う際はグループメンバーを変えながら活動を展開していく。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋1-21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

- ・色氷を使って夏の暑さを吹き飛ばそう！（8/22）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

・前回のすくわくプログラムを通して色水に対して興味が湧くようになり、活動でも色水遊びが増えていた。気温が暑かったこともあり、「この色水冷たくしたいね。」と話していたのがきっかけとなり、今回の活動を行おうと思った。

2 活動スケジュール

- ①好きな色を混ぜ合わせながらオリジナル色水作りを行う。
- ②出来上がった色水を一晩冷蔵庫にしまい、凍らせる。
- ③次の日に出来上がった色氷を使い、園庭で水遊びを行う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・絵の具、プラコップ、水、製作シート
- ・冷蔵庫を使って色氷を作る

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・好きな色を混ぜ合わせてどんな色ができるか自由に実験できる時間を作る。
- ・好きな色を一つ決めて色水を作り、凍らせる。
- ・色氷の感触を味わったり、溶けた色水が混ざり合う瞬間を観察したりする。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

・作った色同士を更に混ぜ合わせ何色になるかを観察したり、「どうやったら透明のピンク作れるかな」「ちょっとずつ絵の具を入れたら綺麗なんだよ」と話し合ったりしながら色氷づくりをしていた。また、完成した色氷を触って「冷たくて気持ちいいね」「触ってなくても溶けてきちゃった」と感触遊びも友達と気持ちを共有しながら楽しむ姿が見られた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

・色水作りも楽しんで取り組んでいたが、色氷の絵の具が薄まっていく様子や水に溶けていく様子など様々な視点で疑問に感じ、新しい発見をしていることに改めて気が付いた。また、直接触っていないのに溶けていく事に疑問を持ったり、友達の氷と比べて溶けるスピードが違うことに興味を持ったりと、熱や光についての発見も見られた為、今後は熱や光を取り入れた活動を行ってみる。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋1-21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

- ・色付き虫眼鏡で自然を見てみよう！（9/26）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

・散歩道中にある花や虫などの自然に興味を持ち深く観察する姿が見られた。また製作活動に強い興味を持っていたので、オリジナルの虫眼鏡を作ることでより積極的に自然観察に臨み、友達同士で感想を共有し合うため。

2 活動スケジュール

- ①園内にて画用紙とカラーフィルムを使った虫眼鏡の製作を行う。
- ②製作した虫眼鏡を持って木場公園に向かう。
- ③道中の草木が多い場所や橋の上では少し立ち止まり観察する時間を設ける。
- ④木場公園に到着後、虫眼鏡を使いながら自由に散策する。
- ⑤帰りの道中や帰園後に振り返りを各グループで行う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・白画用紙、カラーセロファン、ハサミ、のり、セロハンテープ、ストロー

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- 道中は花を観察している際に「どんな色になってる？」など声を掛けながら観察する時間を作る。
- 木場公園に着いてからは、一人でもしくは友達と一緒に虫眼鏡を持って自然散策を行う。
- 友達の虫眼鏡と色を重ねてみたらどうなるのか試してみる。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- 「虫眼鏡したら花の色が変わったよ」「こっちの方が綺麗じゃない？」など感想を友達や保育者と一緒に話し合っていた。また、色を重ねて見た際にも「この色合わせたら花が白くなるんだね。」と試行錯誤しながら楽しむ姿があった。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- 具体的テーマを持って製作活動を行うことで、普段の活動よりも集中力が長く持続していた。また、今回は自然を色々な色虫眼鏡で観察したのだが、カラーフィルムに光が当たり地面に色が映し出される光景を見て「わあ、綺麗！」と話していたので、今後の活動では光の反射などを取り入れていく。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	江東区扇橋1丁目21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

・実際に戸外で図鑑に載っている虫や花を探してみよう！（2/20）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

・室内にある様々な図鑑に興味を示していたので、新しく図鑑を購入し種類を増やしたことで「この虫見たことあるよー」「外で見つけてみたいな」と話していたため。

2 活動スケジュール

①グループを分けて各グループに4種類の図鑑を渡す。
②図鑑を見ながら、今まで見つけたことある虫や花を探し共有する。
③園庭に出て実際に観察してみる。
④園庭にある自然物と図鑑を照らし合わせながら、どんな物なのか詳しく調べる。
⑤室内に戻ってきてグループ毎に振り返りを行う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

・図鑑
・園庭

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・「保育園の園庭にはどんな虫や花があるのかな？」と子ども達に尋ね、想像が膨らみやすいようにする。
- ・園庭では探して欲しい場所を特に決めずに、子ども達が自由に探索出来るようにする。
- ・図鑑と見比べながら名前を確認してみる。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・実際に図鑑を持ち運びながら友達と一緒に園庭にある花や虫を観察していた。
- ・虫や花だけでなく空の色や雲、落ちている石にも興味を持ち、「あの雲はお名前なんだろう？」と友達同士で話しながら図鑑を開いて熱心に探していた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・今回は園内での自然にだけ焦点を当てて探索を試みたのだが、花の数や種類、虫も少なかったのが、今後の探索では広い公園での自然探索が出来るようにしていきたいと思えた。また、小さい物を頑張ってみようとする子もいたので、虫眼鏡を使って探索が出来たら良いと感じた。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋1-21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

- ・虫眼鏡を使って戸外探索をしてみよう！（2/24）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

・前回行ったすくわくプログラムにて小さい物を頑張ってみようとする子達が沢山いたのに加えて、より広い範囲での戸外探索をしたいというこども達からの要求もあったので、虫眼鏡を使った戸外探索を行った。

2 活動スケジュール

- ①虫眼鏡の使い方について共有する。（太陽を見ないと約束を決める）
- ②室内の物を見て、使い方を覚える。
- ③二人一組でペアになり、戸外散歩に向かう。
- ④散歩道中はこども達が興味のある場所で止まり、観察する時間を設ける。
- ⑤公園では二人一組で自由に探索活動を行う。
- ⑥室内に戻ってきてから振り返りをする。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・散歩リュック、虫眼鏡(7個+予備)、水分補給用の水

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・虫眼鏡の正しい使い方を学び、探索活動により興味を示してもらおう。
- ・実際に室内の物や人などを観察して、どのように見えるのか話し合う。
- ・戸外での花や木、葉っぱなどは本当に図鑑のような形をしているのか観察してみる。

〈活動中のこどもの姿、声、こども同士や保育者との関わり〉

- ・虫眼鏡を持って遠目に見ると保育者が反転して見えたようで、「先生がクルクル回ってるよ」など、使い方を色々試していた。
- ・道中の川を観察していた時は距離が遠かったこともあり、「遠くの時はずっと見た方がいいね。」と自分たちで気づきを得ていた。
- ・公園では「この葉っぱ白い毛がいっぱい生えてる」「こっちは赤くなってるよ」などお虫眼鏡を最大限使いながら探索を楽しんでいた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・前回の振り返りを活かし、今回は自然環境が豊かで大きな探索活動スペースを提供することが出来た。また、自然環境に興味や関心が続いている中での活動展開だったので、こども達自身もとてもやる気を出しながら参加していたことが分かった。今後の活動では虫眼鏡と一緒に顕微鏡も購入したので、気になる花や葉っぱなどを採取し、園に戻って全員で意見を共有する機会を作ろうと思う。

江東区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設所在地	東京都江東区扇橋1-21-5
施設名	マミー保育園 扇橋

1 活動のテーマ

〈テーマ〉

- ・顕微鏡を使って自然の物を見てみよう！（3/23）（4歳児）

〈テーマの設定理由〉

- ・前回虫眼鏡を使って行った自然観察がとても楽しかったこともあり、「次は顕微鏡使ってみたい。」と話していたので今回の活動を実施した。

2 活動スケジュール

- ①猿江恩賜公園に向かい、自然探索を行う。
- ②散策で拾った自然物を持ち帰る。
- ③顕微鏡の使い方を保育者の見本と説明を見ながら確認する。
- ④顕微鏡をスクリーンに映し、ピントを合わせたり観察したりする。
- ⑤次回はどんなものを観察したいのか図鑑を見ながら話し合う。

3 活動のために準備した素材、道具及び環境の構成

- ・顕微鏡、採取した花や葉っぱ、プロジェクター、スクリーン

4 探究活動の実践

〈活動の内容〉

- ・顕微鏡の使い方を保育者と一緒に確認し、顕微鏡を使ってみる。
- ・採取した自然物を観察し、目で見るだけでは分からなかった発見を試みる。
- ・図鑑を使って次の採取目標を決め、次の活動に繋げていく。

〈活動中のこどもの姿、声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・自然探索では顕微鏡で色々な物を観察したくて、「先生もっと袋ください」と話し様々な自然採取を行っていた。
- ・スクリーンに映った顕微鏡の映像をみんなで見て、「もっと回すんだよ」「止まって」とピント調整に苦戦しながらも綺麗に映った際には「できた!」と喜び、スクリーンの近くまで行き観察していた。
- ・葉っぱの断面を確認し、「虫にいっぱい食べられてるね」「この白い線、飛行機雲みたい」と楽しそうに保育者や友達に話していた。



5 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・前回の活動の延長により、自然探索を行った上で今回は顕微鏡を使ってみたのだが、新しい器具を使っていたこともあり、意欲的に参加する姿が見られたのがとても良かった。また、葉っぱの表面を見ながら、「雲みたいにフワフワだね。」「真っ直ぐな線が綺麗だね。」など、子どもならではの表現がたくさん出てきていたので、今後は新しいテーマを使った活動も考えていきたい。